

3

考察・構想を深める「単元的设计」

公正に判断する力に関わる見方・考え方を働かせた深い学び

社会科、地理歴史科、公民科を通じて育成する資質・能力

学校種 教科	目標（柱書部分）
小学校 社会科	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して 、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な 公民としての資質・能力の基礎 を次のとおり育成することを目指す。
中学校 社会科	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して 、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な 公民としての資質・能力の基礎 を次のとおり育成することを目指す。
高等学校 地理歴史 科	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して 、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な 公民としての資質・能力 を次のとおり育成することを目指す。
高等学校 公民科	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の課題を追究したり解決したりする活動を通して 、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な 公民としての資質・能力 を次のとおり育成することを目指す。

社会科、地理歴史科、公民科における「社会的な見方・考え方」のイメージ

「社会的な見方・考え方」とは

「『見方・考え方』は各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や方法(考え方)」であり、各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなし、教科等と社会をつなぐもの。

- 小学校社会科, 中学校社会科各分野, 高等学校地理歴史科及び公民科の各科目の「見方・考え方」の総称。
- 社会的事象等の意味や意義, 特色や相互の関連を考察したり, 社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想したりする際の視点や方法(考え方)

【高等学校】

地理歴史科

社会的事象の地理的な見方・考え方

社会的事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え
地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で, 人間の営みと関連付けて

公民科

人間と社会の在り方についての見方・考え方

社会的事象等を倫理, 政治, 法, 経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え
よりよい社会の構築や人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて, 課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けて

地理歴史科

社会的事象の歴史的な見方・考え方

社会的事象を時期, 推移などに着目して捉え
類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして

【中学校】

公民的分野

現代社会の見方・考え方

社会的事象を政治, 法, 経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え
よりよい社会の構築に向けて, 課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けて

地理的分野

社会的事象の地理的な見方・考え方

社会的事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え
地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で, 人間の営みと関連付けて

歴史的分野

社会的事象の歴史的な見方・考え方

社会的事象を時期, 推移などに着目して捉え
類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして

社会科

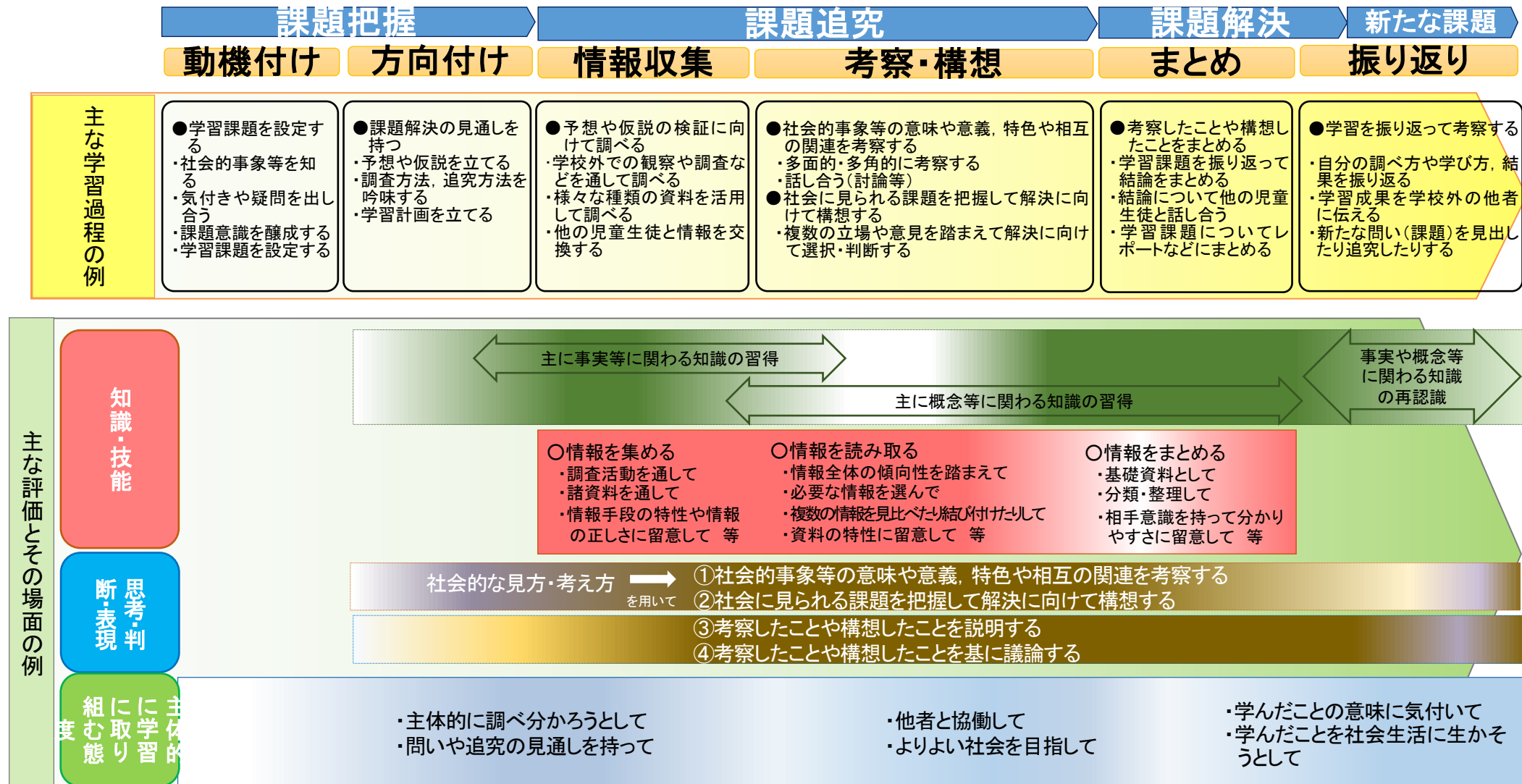
社会的事象の見方・考え方

社会的事象を, 位置や空間的な広がり, 時期や時間の経過, 事象や人々の相互関係に着目して捉え
比較・分類したり総合したり地域の人々や国民の生活と関連付けたりして

【小学校】

「課題を追究したり、解決したりする活動を通して」

社会科、地理歴史科、公民科における学習過程のイメージ

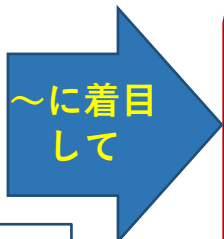


平成28年12月21日中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」別添資料3－5 ただし、評価部分について現行の3観点に合わせて修正

社会科の教科目標（柱書）

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会的な見方・
考え方を働かせる



- 社会的な見方・考え方
「視点や方法（考え方）」
- 社会的事象の地理的な見方・考え方
 - 社会的事象の歴史的な見方・考え方
 - 現代社会の見方・考え方

単元など内容や時間のまとまりを見通して
学習課題を設定し、

諸資料や調査活動などを通して調べたり、
思考、判断、表現したりしながら、

社会的事象の特色や意味などを理解した
り社会への関心を高めたりする



主体的・対話的で深い学びの実現
に向けた授業改善

「知識及び技能」を習得・活用し思考、判断、表現しながら課題を解決する一連の学習過程において効果的に育成される



知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等	学びに向かう力、 人間性等
公民としての資質・能力（の基礎）		

「解説」
pp.23-25
より作成

指導計画の作成と内容の取扱い／各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成上の配慮事項 (1)

(小学校社会科)

- ① **単元など内容や時間のまとまり**を見通して、
 - ② その中で育む**資質・能力の育成に向けて**、
 - ③ **児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図る**ようにすること。
- その際、
- ④ 問題解決への見通しをもつこと、
 - ⑤ **社会的事象の見方・考え方**を働かせ、**事象の特色や意味などを考え概念などに関する知識**を獲得すること、
 - ⑥ 学習の過程や成果を振り返り学んだことを活用することなど、
 - ⑦ **学習の問題を追究・解決する活動**の充実を図ること。

(中学校社会科)

- ① **単元など内容や時間のまとまり**を見通して、
 - ② その中で育む**資質・能力の育成に向けて**、
 - ③ **生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る**ようにすること。
- その際、
- ④ 分野の特質に応じた**見方・考え方**を働かせ、
 - ⑤ **社会的事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識**を獲得したり、
 - ⑥ **社会との関わりを意識した課題を追究したり解決したりする活動**の充実を図ること。
- また、
- ・ 知識に偏り過ぎた指導にならないようにするため、基本的な事柄を厳選して指導内容を構成するとともに、
 - ・ 各分野において、第2の内容の範囲や程度に十分配慮しつつ事柄を再構成するなどの工夫をして、基本的な内容が確実に身に付くよう指導すること。

(高等学校地理歴史科)

- ① **単元など内容や時間のまとまり**を見通して、
 - ② その中で育む**資質・能力の育成に向けて**、
 - ③ **生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る**ようにすること。
- その際、
- ④ 科目の特質に応じた**見方・考え方**を働かせ、
 - ⑤ **社会的事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識**を獲得したり、
 - ⑥ **社会との関わりを意識した課題を追究したり解決したりする活動**の充実を図ること。

(2)地理歴史科の目標を達成するため、公民科などとの関連を図るとともに、地理歴史科に属する科目相互の関連に留意しながら、全体としてのまとまりを工夫し、特定の事項だけに指導が偏らないようにすること。

「地理総合」を履修した後に「地理探究」を、「歴史総合」を履修した後に「日本史探究」、「世界史探究」

「公共」を履修した後に「倫理」及び「政治・経済」

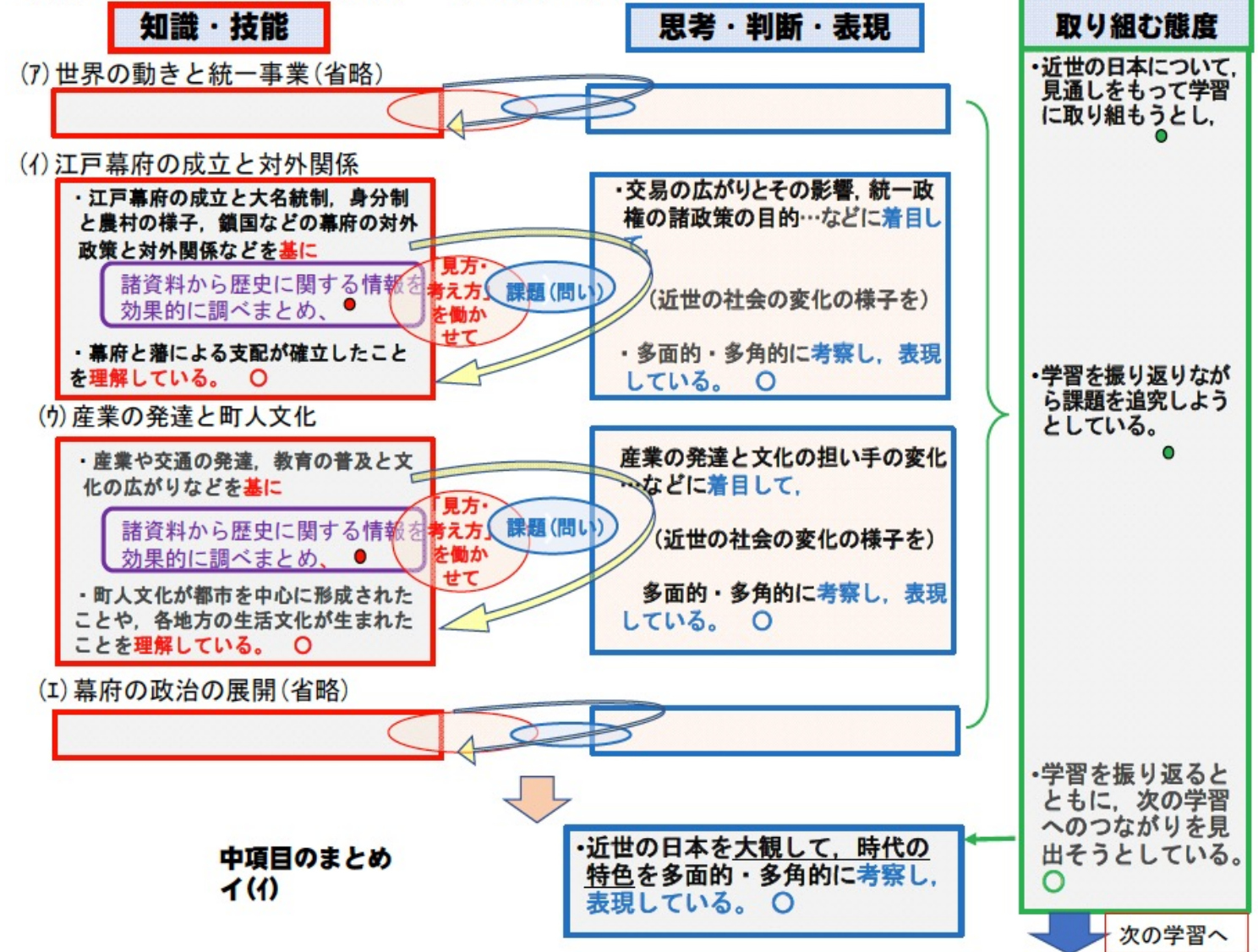
各学校で創意工夫して適切な指導計画を作成する

歴史的分野 歴史について考察する力や説明する力の育成の一層の重視

学習過程と評価の構造を模式的に示した図

中項目(=内容のまとめり)が一つの大きな単元としての構造をもつことに留意し、考察(思考)、説明(表現)をしながら理解していく学習過程を踏まえ、その成果を評価することが重要である。

学習の過程と評価の構造図 (B(3)「近世の日本」を事例に)

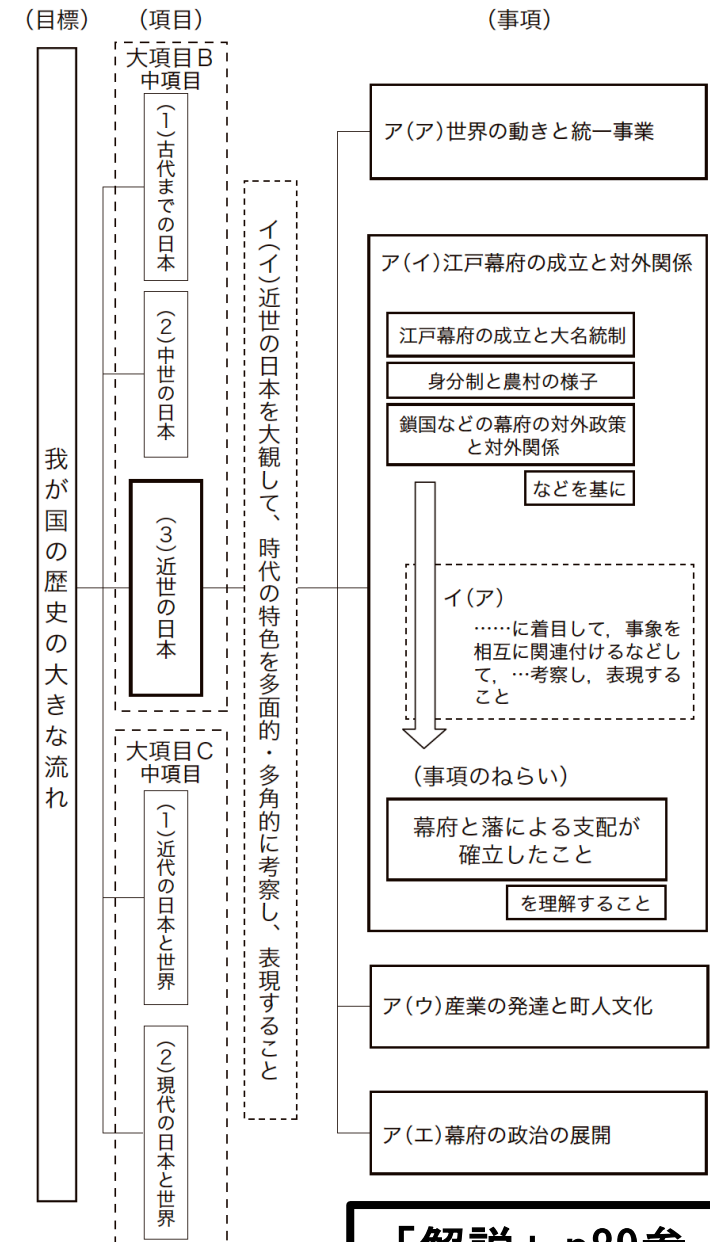


歴史的分野 学習の構造化と焦点化

(改訂の要点) 中学校解説 p.19

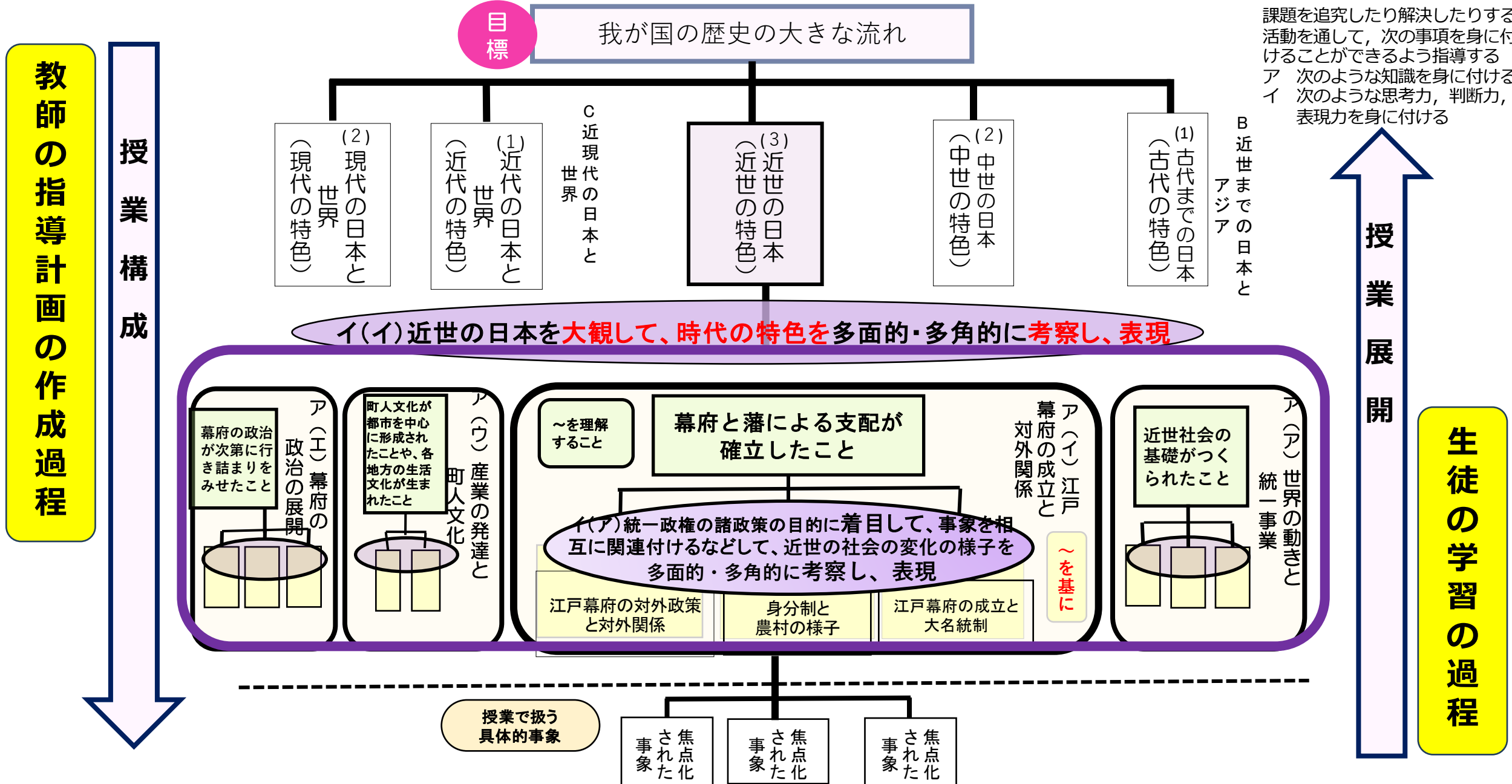
イ 歴史的分野の学習の構造化と焦点化

(略) 従前も学習内容の構造化や焦点化については示してきたところであるが、今回の改訂では、学習の過程を含めて構造的に示すことによって、大項目、中項目及び各事項のねらいに基づいた学習が展開し、アに示す「知識及び技能を身に付ける」学習と、イに示す「思考力、判断力、表現力等を身に付ける」学習を有機的に結び付けて、課題追究的な学習の実現を図った。また、**学習の構造化と学習のねらいを明確にすることによって、学習の際に扱うべき歴史に関わる諸事象の精選を図ることとしたものである。**



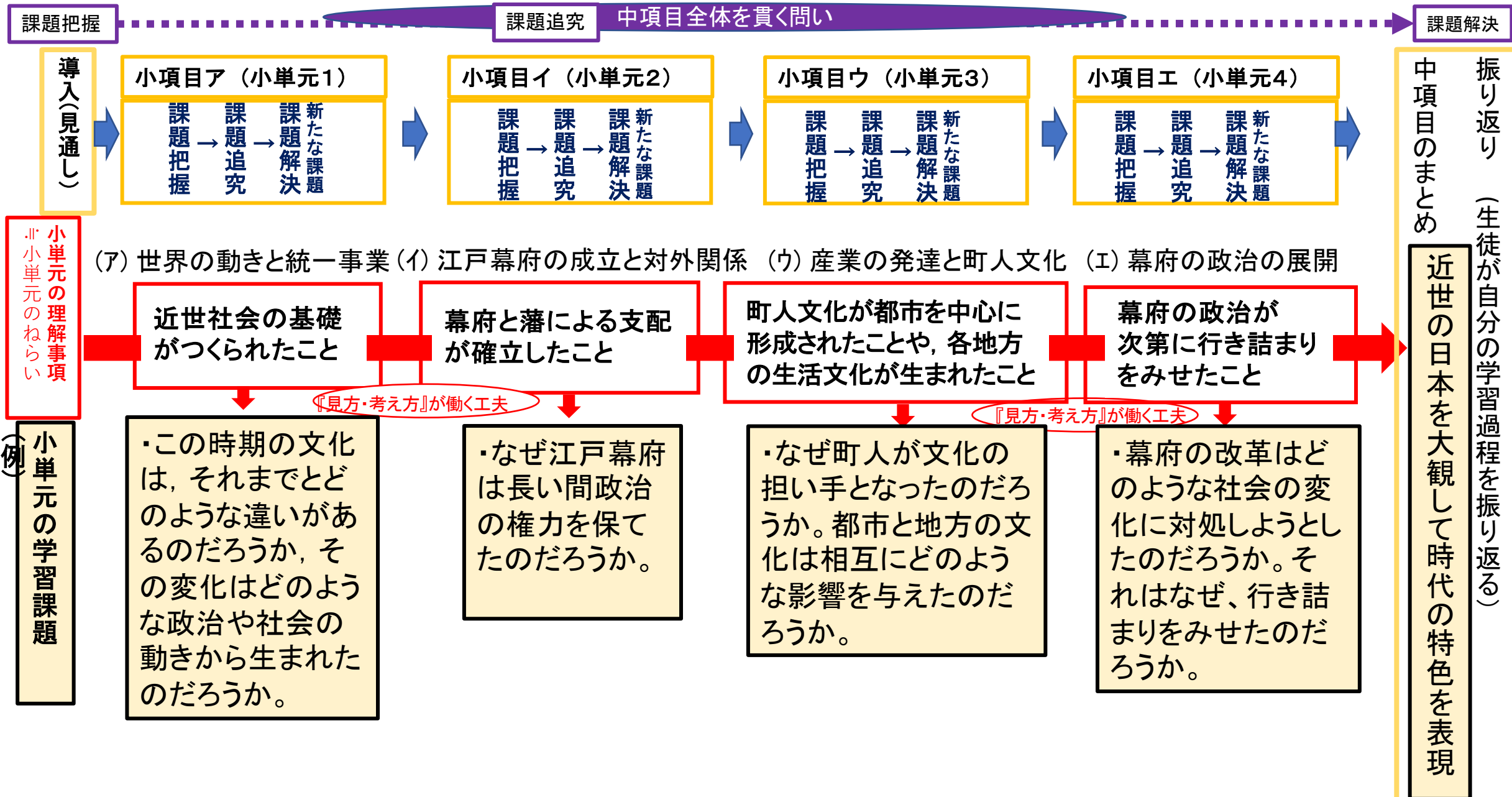
「解説」 p89参

中学校社会科歴史的分野 大項目B、Cの学習の構造化図



中学校歴史的分野 課題（問い）の構造と単元計画

考えることで理解する



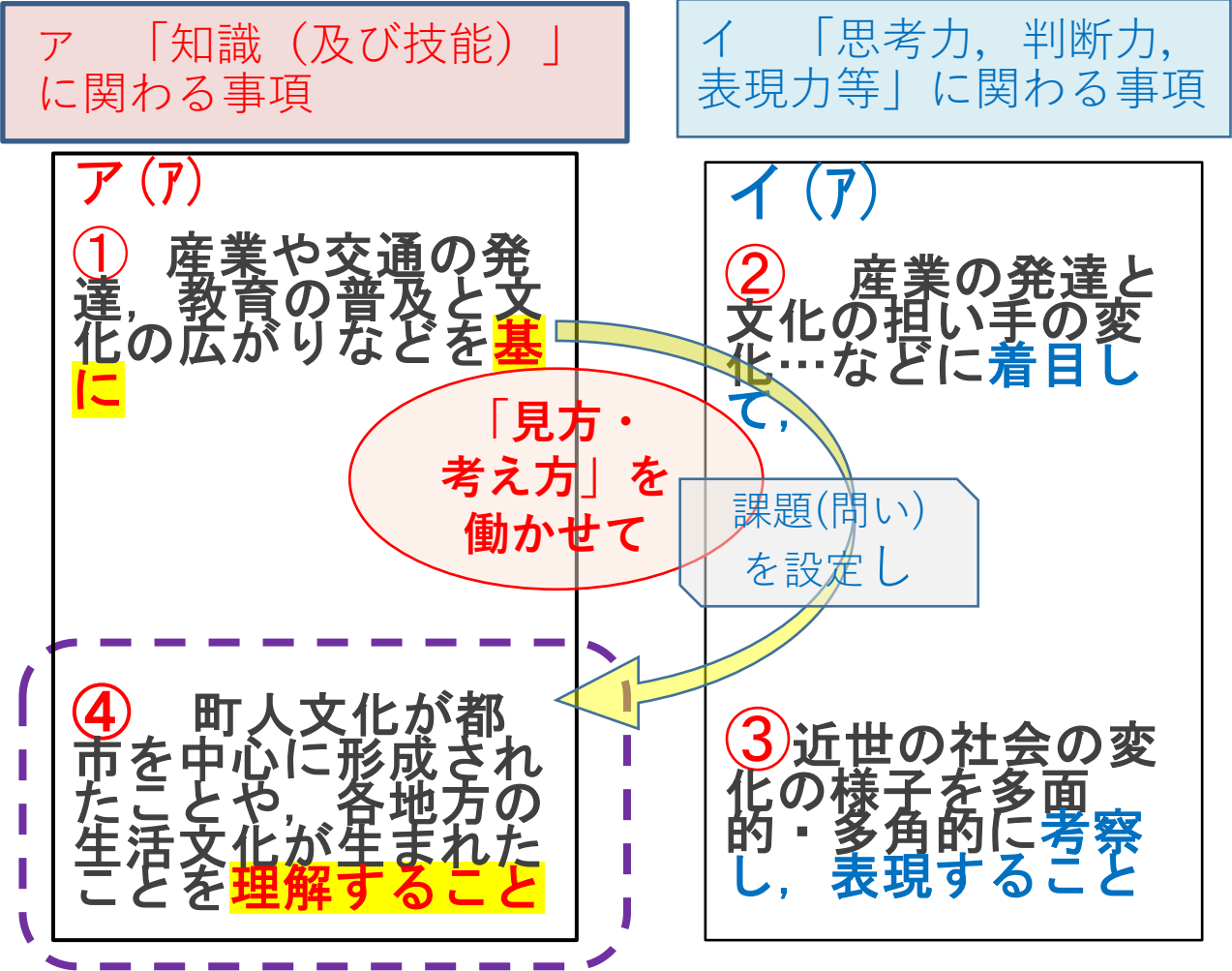
見方・考え方を働かせる学習の基本構造（中学校社会科歴史的分野）

考えることで理解する

B(3)「近世の日本」の学習指導要領の記載

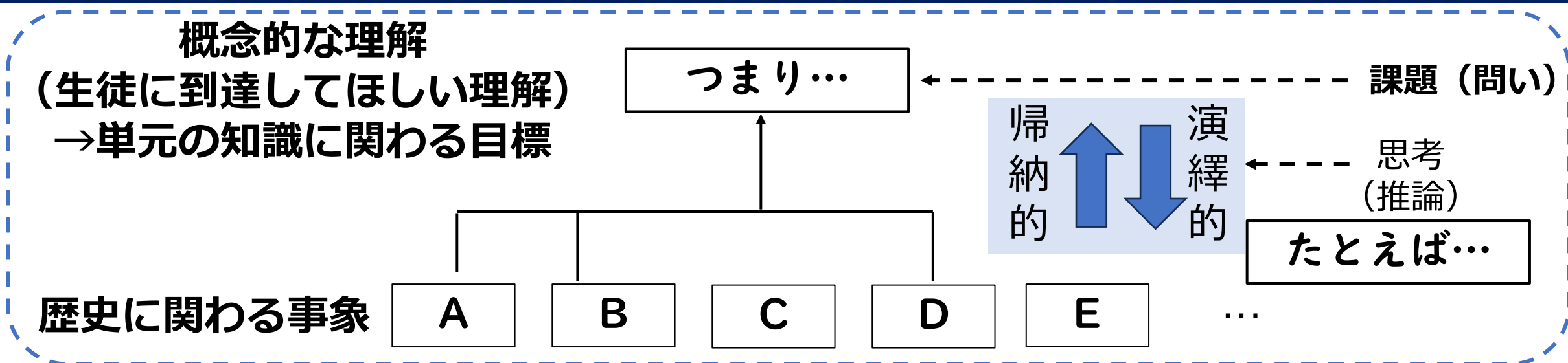
知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等
ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 世界の動きと統一事業 ヨーロッパ人来航の背景とその影響, 織田・豊 臣による統一事業とその当時の対外関係, 武将 や豪商などの生活文化の展開などを基に, 近世社会の基礎がつけられたことを理解すること。 (イ) 江戸幕府の成立と対外関係 江戸幕府の成立と大名統制, 身分制と農村の様子, 鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に, 幕府と藩による支配が確立したことを理解すること。 (ウ) 産業の発達と町人文化 産業や交通の発達, 教育の普及と文化の広がりなどを基に, 町人文化が都市を中心に形成されたことや, 各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。 (エ) 幕府の政治の展開 社会の変動や欧米諸国の接近, 幕府の政治改革, 新しい学問・思想の動きなどを基に, 幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解すること。	イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 交易の広がりとその影響, 統一政権の諸政策の目的, <u>産業の発達と文化の担い手の変化</u>, 社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, アの(ア)から(エ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現すること。 (イ) 近世の日本を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現すること。

歴史的分野の小項目の構造



A	(1)	年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容
	(2)	(具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能)
B	(1)	ア 世界の各地で文明が築かれたこと
		イ 東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったこと
		ウ 東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したこと
		エ 国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだこと
	(2)	ア 武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったこと
		イ 武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたこと
		ウ 民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたこと
		エ 近世社会の基礎がつけられたこと
C	(3)	イ 幕府と藩による支配が確立したこと
		ウ 町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたこと
		エ 幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたこと
	(1)	ア 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したこと
		イ 明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したこと
		ウ 立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したこと
		エ 我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたこと
	(2)	オ 第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたこと
		カ 軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと
		ア 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたこと
		イ 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたこと

個別的な知識とそれらが束ねられた理解（概念的な理解）



歴史に関わる事象（出来事、制度、人物など）を網羅的に扱う＝目標が明確でない
➡ 浅い学び 「あれも、これも」

歴史に関わる事象を適切に選択し、思考・判断・表現を経て概念的に理解＝目標がある
➡ 深い学び 「あれか、これか」

個別的な知識を並べることに留まっているもの

例：Aがあって、Bとなり、Cが起こって、Dが登場したので、幕府の政治が次第に行き詰っていった。

より概念化された理解に至っているもの（まとめとしての表現として言い換えたりして、理解を表出）

例：Aがあって、Bとなり、Cが起こって、Dが登場した。**つまり、〇〇が変化したことによって、**幕府の政治が次第に行き詰っていった。

ワークシートを活用した概念的な理解の評価 「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価事例

小単元のまとめ	第8時 小単元の学習課題：『明治維新』とはどのような国づくりをめざした動きだったのか			
	・明治維新がどのような国づくりをめざしていたのかを、外国からの影響や江戸時代からの変化、地域との関わりに着目しながら、「小単元の学習課題」を考察し、ワークシートに記述する。	○	○	○明治政府の諸改革の目的、工業化の進展と政治や社会の変化、近代化がもたらした文化への影響などに着目し、小項目の課題について、多面的・多角的に考察、表現している。 ○明治維新が、日本の近代国家の基礎を整えていく過程であったことを理解している。
	・小単元の学習を通して学んだことを振り返るとともに、中項目全体を貫く問いとの関わりを確認する。		○	○地域と歴史との関わりに関心をもって課題を追究しようとしている。(A(2)) ●自己の学習を振り返り、調整しようとしている。

学習の過程に注目し、小単元のまとめでワークシートを活用した「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価事例
-小単元(8時間構成)学習後のまとめ(「知識＝用語」ではない)

例：「小単元のまとめ」における「知識・技能」について、「おおむね満足できる」状況（B）と考えられる生徒の記述

明治維新とは、列強から自分たち日本を守るためのできる十分な力のある国づくりをめざした動きだったと考えました。

単元を通した学習によって獲得した概念的な知識【知識・技能】

例：「小単元のまとめ」における「思考・判断・表現」について、B評価と考えられる生徒の記述

そう考えた理由は、大政奉還のあと、明治政府は統一国家であり、経済力や軍事力が諸国より上っている列強と並ぶことのできるように、版籍奉還や廃藩置県を行い、日本を統一国家にするための改革を行っているし、軍事の点でも富国強兵をスローガンとして列強が東アジアに勢力を伸ばしていることに危機感を覚え、徴兵令を出し全国統一の軍隊を作ろうとしていたからです。また近代化するためには西洋の技術や知識を取り入れたり、国民の意識向上が近代化の基礎と考え、学制を公布したのも列強に追いつくためだと考えました。

単元を通した学習で視点をもって事象を結び付けた考察【思考・判断・表現】

単元計画の改善

中学校社会科歴史的分野

○記録に残す評価
(A、B、Cを評価)

時数	内容
第1時	ルネサンスと宗教改革
第2時	大航海時代とアメリカ大陸の変化
第3時	鉄砲・キリスト教の伝来と南蛮貿易
第4時	信長、秀吉の統一事業
第5時	秀吉の政治と外交政策
第6時	安土桃山時代の文化
第7時	江戸幕府の成立と大名統制
第8時	江戸時代の身分と人々の暮らし
第9時	江戸時代の対外関係
第10時	琉球の文化やアイヌ民族の文化
第11時	農業やその他の産業の発達
第12時	交通路やその他の産業の発達
第13時	綱吉の政治と元禄文化
第14…20時	……（7時間省略）……
第21時	近世のまとめ（近世の特色）

小単元	次	時数	内容	
1 世界の動きと統一事業	①	第1時	導入：近世の見通し ルネサンスと宗教改革	
		第2時	大航海時代とアメリカ大陸の変化	
	②	第3時	鉄砲・キリスト教の伝来と南蛮貿易	
		第4時	信長、秀吉の統一事業	
		第5時	秀吉の政治と外交政策	
	③	第6時	安土桃山時代の文化	←○
2 江戸幕府の成立と対外関係	①	第7時	江戸幕府の成立と大名統制	
		第8時	江戸時代の身分と人々の暮らし	
	②	第9時	江戸時代の対外関係	
		第10時	琉球の文化やアイヌ民族の文化	←○
3 産業の発達と町人文化	①	第11時	農業やその他の産業の発達	
		第12時	交通路やその他の産業の発達	
	②	第13時	綱吉の政治と元禄文化	
4 幕府政治の展開		第14…20時	……（7時間省略）……	←○
		第21時	近世のまとめ（近世の特色）	←○